

## 編集後記

### 研究室短信

2011年3月11日における東日本大震災の発生から4回目の春を迎えようとしています。大震災後に着工された人文・社会学系棟の耐震改修工事も昨年度末に第Ⅰ期工事が完了し、今年度の第Ⅱ期工事がほぼ完了しようとしています。社会学研究室の教職員と社会科学専攻の大学院生たちは、今年度の始めに、工事期間中に代替研究室として利用してきた吾妻地区の公務員宿舎と学内の院生共同研究室からそれぞれの研究室に戻ることができました。社会学研究室の共有スペースは若干手狭にはなりましたが、それぞれの研究室を含む各室には最新の冷暖房・空調設備が用意され、共有フロアにも簡便な休憩室と清潔な化粧室が整備されました。このような快適な教育研究環境のもと、教職員一同、心を新たに日々の業務に取り組んでいます。来年度の始めには第Ⅲ期工事が着工され、同年度末には工事が完了する見込みです。現在、工事期間中の代替研究室として3K棟の一室を借用している国際公共政策専攻の大学院生たちの研究室がようやく完成することになります。

社会学研究室の復旧を見据えつつ、『社会学ジャーナル』第40号をお届けします。

\*

大学院人文社会科学研究科国際公共政策専攻における修士論文の提出者と題目は以下の通りです。

- 佐川 宏迪 「日本の高校教育における生徒の包摂不可能性の顕在化と1970年代  
——『月刊生徒指導』に見られる教師の語りに注目して」
- 佐藤 北斗 「いじめ問題の新たな構築過程の考察  
——大津いじめ自殺事件における外部委員会の登場とその報告書に注目して」
- 野上 亮 「八幡製鉄『製鉄文化』に見る職場文学の誕生と変容」
- 宮里 祐人 「戦争裁判と日本人の『表象』——BC級戦犯をめぐる新聞報道の分析から」
- 王 晧喻 「現代中国の『大学生村官』に関する社会学的考察  
——インタビュー調査を手がかりに」
- 史 冬飛 「現代中国におけるネット・コミュニケーションの研究  
——人海検査に見られる話題のネタ化を中心にして」
- 周 筱 「『幼女』の語られ方——中国現行刑法における『嫖宿幼女罪（幼女買春罪）』の解釈をめぐる法的言説と日常的言説」

李 岱真「ソーシャルワーカーによる逸脱行動の原因構築  
——台湾における非行少年の家庭環境をめぐる解釈と介入」

大学院人文社会科学研究所社会科学専攻における博士論文の提出者と題目は以下の通りです。

後藤 美緒「東京帝大新人会と戦後日本——知識人のライフコース的研究」

平成26年度社会学研究室の各教員の学類および大学院において開設した授業科目は以下の通りです（社会学類／大学院人文社会科学研究所）。

全 教 員＝社会学入門——「繋がり」の変容を考える／社会学基礎理論、  
国際公共政策専攻リサーチワークショップⅠ、国際公共政策プロジェクト演習Ⅰ

奥山 敏雄＝病いと死の社会学，社会学研究法Ⅱ，社会学演習Ⅱb／医療社会学Ⅰ，医療社会学演習Ⅰ，医療社会学特別演習Ⅰ

土井 隆義＝逸脱行動論—犯罪社会学Ⅰ，社会学研究法Ⅲ，社会学演習Ⅶb  
／逸脱行動論Ⅰ，逸脱行動論演習Ⅰ，逸脱行動論特別演習Ⅰ

黄 順姫＝スポーツ文化論，社会学演習Ⅴb／国際公共政策論，  
文化社会学Ⅰ，文化社会学演習Ⅰ，文化社会学特別演習Ⅰ，  
社会調査実習（大学院教育研究科修士課程社会科教育コース），  
グローバル共存・共生（全学類自由科目特設），大学と学問（全学類特別科目コーディネーター）

五十嵐泰正＝現代社会論，社会学研究法Ⅰ，社会調査実習Ⅱb／国際公共政策論，都市社会学Ⅰ，都市社会学演習Ⅰ，都市社会学特別演習Ⅰ

ウラノ・エジソン＝Introduction to Social Sciences, Living in Japan as Foreign Student, Social Issues in Contemporary Japan, Comparative Society, Public Policy, International Social StudiesⅠ, Seminar(A,B,C,D,E,F)（以上・G30担当科目），グローバル共存・共生（自由科目「グローバル共存・共生」開設科目）／国際公共政策論，国際社会政策論Ⅰ，国際社会政策論演習Ⅰ，国際社会政策論特別演習Ⅰ（以上・大学院人文社会科学研究所国際公共政策専攻），ラテン・アメリカ研究演習Ⅰ（A・B），地域調査法Ⅲ，公共政策論Ⅴ（以上・大学院人文社会科学研究所国際地域研究専攻）

樽川 典子＝ジェンダー社会論，ジェンダーと刑法，社会学研究法Ⅰ，社会学外書講読Ⅱ，社会学演習Ⅵb／国際公共政策論，家族社会学Ⅰ，家族社会学演習Ⅰ，家族社会学特別演習Ⅰ

- 野上 元 = メディアと情報化の社会学, 社会学研究法Ⅲ, 社会学外書講読Ⅰ,  
社会学演習Ⅰb / 歴史社会学Ⅰ, 歴史社会学演習Ⅰ, 歴史社会学  
特別演習Ⅰ
- 森 直人 = 社会階層論, 社会学演習Ⅸb (以上・社会学類), 日本の社会 (自  
由科目「日本語・日本事情」開設科目) / 労働社会学Ⅱ, 労働社  
会学演習Ⅱ, 労働社会学特別演習Ⅰ (以上・大学院人文社会科学  
研究科), 社会学特講Ⅰ・Ⅱ, 公民教育研究法Ⅰ・Ⅱ (以上, 大  
学院教育学研究科)
- 葛山 泰央 = 社会学基礎論, 知識社会学, 社会学研究法Ⅱ, 社会学演習Ⅲb  
/ 知識社会学Ⅰ, 知識社会学演習Ⅰ, 知識社会学特別演習Ⅰ

このほか学類では, 卒業論文・卒業論文演習が各教員によって開講されました。

他専攻にご所属の先生方 (敬称略) により, 学類共通科目として, 以下の授業科目をご担当いただきました。

- 岡上 雅美 = ジェンダーと刑法 (社会学類・法学主専攻と共通)
- 木下 太志 = Population and Development [人口と開発]
- 前川 啓治 = 文化・開発論 (以上・国際総合学類と共通)
- 海後 宗男 = メディア・コミュニケーション論
- 仲田 誠 = 情報文化概論Ⅰ・Ⅱ
- 福原 直樹 = ジャーナリズム論Ⅰ・Ⅱ, ジャーナリズム特別演習  
(以上・比較文化学類と共通)
- 清水 論・松村 和則 = スポーツ社会学
- 松村 和則 = 環境社会学 (以上・体育専門学群と共通)

今年度非常勤講師として, 以下の先生方 (敬称略) にご出講いただきました。  
篤くお礼申し上げます。

- 稲葉振一郎 (明治学院大学) = 理論社会学Ⅲ, 法社会学Ⅱ
- 坂田 勝彦 (東日本国際大学) = 共生社会学Ⅱ [以上・社会学類]
- 岡邊 健 (山口大学) = 社会調査方法論Ⅱ
- 前川 真行 (大阪府立大学) = 社会問題論Ⅰ
- 宮内 泰介 (北海道大学) = 共生社会構想論Ⅲ  
[以上・大学院人文社会科学研究科]

今年度の研究室の人事異動は次の通りです。( ) 内は前職などを示します。  
平成26年4月 ウラノ・エジソン (社会学類・G30担当教員) 准教授に就任